

金融のしくみと働き



公共の学びを深めるところ Think...考えるコーナー(5分~10分) / Work...作業するコーナー(10分~20分)

(i) 通貨と通貨制度

- * **貨幣** ... 経済的な取引の _____ をするもの
- * **通貨** ... 貨幣の中で実際に _____ しているもの
 - [1] _____] (紙幣 + 硬貨)
 - [2] _____] (普通預金、当座預金)

※市場全体に供給されている
通貨の量を[3] _____]という

貨幣の機能	内容
4	財やサービスの価値を測る基準となる
交換手段	財やサービスの交換の仲立ちをする
支払手段	債権や債務の決済を行うことができる
5	貯めておくことや、いつでも財やサービスと交換できるよう保存できる

Column Q お金の無い時代はどうしていた…?

自給自足の生活をしていた頃は、欲しいものがあれば物々交換による取引しかできなかった。しかし、自分の欲しい物と相手が交換したい物とがあわないことがよくあり、「誰もが欲しいがる・集めたり分けれる・持ち運びがらくで保管できる」といった条件をもつ物を交換のなかだちとして用いるようになった。日本では砂金、布などが多く用いられたが、中国では美しい宝貝をお金として用いていた。こうしたことから、お金や経済に関係する漢字は貝のつく字が多くある。

■ 通貨制度

[背景]貿易をしたいが価値の統一が難しい。⇒ 全世界共通の価値を持つものはないだろうか…

⇒最大の輸出国イギリスの呼びかけにより世界共通の価値を定めようとした。それが _____

- * [6] _____]: 中央銀行が金との交換を保証した[7] _____]を発行
つまり、「金の価値 = 通貨の価値」となった。

- 〔 メリット 通貨の価値 = 「金」の価値のため、通貨の価値が安定する
- 〔 デメリット 「金」の保有分しか通貨の発行ができず、融通が利かない



1929年に[8] _____]が発生したが、通貨量の調整により景気回復をすることができず各国が金本位制の限界を感じる。→ 多くの国で管理通貨制度への変更を検討。

- * [9] _____]: 金との交換を保証しない[10] _____]を発行
つまり、金の保有量に縛られずに紙幣を発行できるように。

- 〔 メリット 通貨量を自由に調整し、金融政策ができる
- 〔 デメリット 過剰に通貨を発行することで、インフレを引き起こす可能性も _____

↓

*近年の通貨制度 クレジットカード決済や電子マネーの普及が進む(=[¹¹])
 法定通貨ではなく国境を越えて自由に使える[¹²](仮想通貨)も注目

Think **キャッシュレス化の効果を考えてみよう**

日本はニセ札の少なさ、治安の良さ、ATMの利便性などが要因で、他国に比べて現金を好む傾向が強い。キャッシュレス決済比率は、韓国 95%・イギリス 57%・アメリカ 47%と普及している国もあるのに対して、日本は約[]%という数字である。(2018) そもそもキャッシュレス化による効果はどんなことがあるのだろうか？変化するお金のあり方について考えてみましょう。

キャッシュレス化のメリット

- ・
- ・
- ・

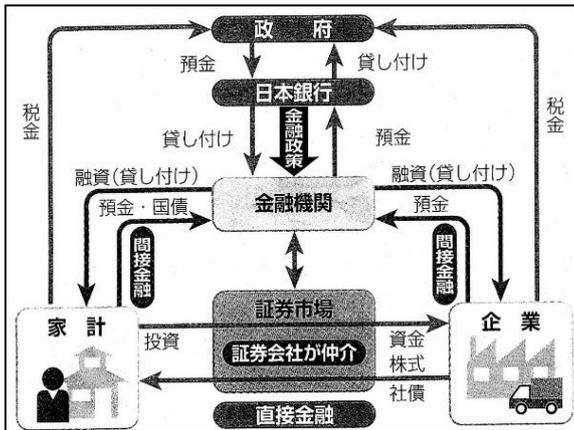
キャッシュレス化のデメリット

- ・
- ・
- ・

(ii) 金融市場と金融機関

金融 =

金融の循環



市場の種類

- [¹³] : 資金の貸し手と借り手の間で資金を取引する市場
- [¹⁴] : 株式や債券などの有価証券を取引

資金の調達方法は2種類に分けられる

- [¹⁵] : 株式や社債を発行し、家計から直接的に資金を集める方法
- [¹⁶] : 銀行などの金融機関を通して間接的に資金を集める方法

+a 銀行は金利で儲けている！

※金利とは = 借り手が貸し手に資金を融通してもらった時に、お返しとして払う**利子**の割合

例：金利 0.01%で預金業務
 金利 5.0%で貸出業務



(iii) 金融機関の役割

- * 銀行の3大業務 … 預金業務 (預金の受け入れ)
… 貸出業務 (資金の貸し付け)
… 為替業務 (現金を使わない資金の移動)



* 銀行の3つの機能

- ① [17]]機能 (資金の余っている経済主体から資金を預かり、不足する主体へ貸し出す)
- ② [18]]機能 (送金や自動支払いなどの方法で、現金を使わずに資金の決済を行う)
- ③ [19]]機能 (預金の受け入れと貸し付けを繰り返すことで、何倍もの預金通貨を創出)

Think🗨️ もしこの世に銀行が無かったら…?

銀行とは、余裕のある人からお金を預かり(預金業務)、必要とすることへ貸し出す(貸出業務)ことで社会を豊かにする組織です。また、私たちの日々のお金のやりとりを円滑かつ確実に行う(為替業務)ことで経済活動を支えることも、銀行の大切な責務。これを「銀行の3大業務」といいます。もしも銀行がこの世になかったら…私たちの暮らしはどうなるのでしょうか。考えてみましょう。

-
-
-
-
-

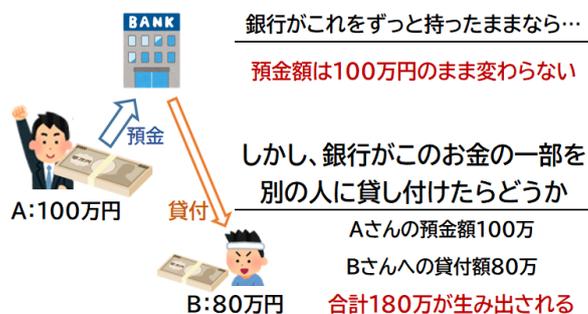
発展問題💡 信用創造とは何か

銀行は、預金を貸出にまわすことを繰り返し、最初の預金の何倍ものお金を作り出すことができる。このしくみを〔²⁰ 〕という。

金融機関は、預かったお金を他に回すことを繰り返し、元のお金よりも多くのお金を作り出す。

でもそれだと A さんのお金がなくなるんじゃないかと思うかもしれないが、お互いの信頼によって成り立つ。銀行は B さんに対して「貸した分は返ってくる」と信用 A さんも銀行を信用しているからすぐ引き出すこともない。この信用のもとで、眠っているお金を回すことができる。

(例) A さんが 100 万円を預けたとする



しかし、全て回すといざという時のお金がなくなってしまうので、銀行は預金を受け入れた時にその一部を〔²¹ 〕として日本銀行へ預けて残しておく必要がある。

金融のしくみと働き



公共の学びを深めるところ Think...考えるコーナー(5分~10分) / Work...作業するコーナー(10分~20分)

(i) 通貨と通貨制度

- * **貨幣** … 経済的な取引の **仲立ち** をするもの
- * **通貨** … 貨幣の中で実際に **流通** しているもの
 - [1] **現金通貨**] (紙幣 + 硬貨)
 - [2] **預金通貨**] (普通預金、当座預金)

※市場全体に供給されている
通貨の量を[3] **マネーストック**]という

貨幣の機能	内容
4 価値尺度	財やサービスの価値を測る基準となる
交換手段	財やサービスの交換の仲立ちをする
支払手段	債権や債務の決済を行うことができる
5 価値貯蔵手段	貯めておくことや、いつでも財やサービスと交換できるよう保存できる

Column Q お金の無い時代はどうしていた…?

自給自足の生活をしていた頃は、欲しいものがあれば物々交換による取引しかできなかった。しかし、自分の欲しい物と相手が交換したい物とがあわないことがよくあり、「誰もが欲しいがる・集めたり分けれる・持ち運びがらくで保管できる」といった条件をもつ物を交換のなかだちとして用いるようになった。日本では砂金、布などが多く用いられたが、中国では美しい宝貝をお金として用いていた。こうしたことから、お金や経済に関係する漢字は貝のつく字が多くある。

■ 通貨制度

[背景]貿易をしたいが価値の統一が難しい。⇒ 全世界共通の価値を持つものはないだろうか…

⇒最大の輸出国イギリスの呼びかけにより世界共通の価値を定めようとした。それが **金**…

- * [6] **金本位制**] : 中央銀行が金との交換を保証した [7] **兌換紙幣**] を発行

つまり、「金の価値 = 通貨の価値」となった。

- 〔 メリット 通貨の価値 = 「金」の価値のため、通貨の価値が安定する
- 〔 デメリット 「金」の保有分しか通貨の発行ができず、融通が利かない



1929年に [8] **世界恐慌**] が発生したが、通貨量の調整により景気回復をすることができず各国が金本位制の限界を感じる。⇒ 多くの国で管理通貨制度への変更を検討。

- * [9] **管理通貨制度**] : 金との交換を保証しない [10] **不換紙幣**] を発行

つまり、金の保有量に縛られずに紙幣を発行できるように。

- 〔 メリット 通貨量を自由に調整し、金融政策ができる
- 〔 デメリット 過剰に通貨を発行することで、インフレを引き起こす可能性も

↓

*近年の通貨制度 クレジットカード決済や電子マネーの普及が進む（=[¹¹ **キャッシュレス化**]）
 法定通貨ではなく国境を越えて自由に使える[¹² **暗号資産**](仮想通貨)も注目

Think🗨️ キャッシュレス化の効果を考えてみよう

日本はニセ札の少なさ、治安の良さ、ATMの利便性などが要因で、他国に比べて現金を好む傾向が強い。キャッシュレス決済比率は、韓国95%・イギリス57%・アメリカ47%と普及している国もあるのに対して、日本は約[]%という数字である。(2018) そもそもキャッシュレス化による効果はどんなことがあるのだろうか？変化するお金のあり方について考えてみましょう。

キャッシュレス化のメリット

- ・現金を持ち歩いたり、準備する必要がなくなる
- ・支払い履歴を利用すれば、お金の管理が便利になる
- ・現金管理の手間が減り、人件費削減
- ・現金の紛失や盗難が防げる
- ・外国人観光客にとって使いやすい

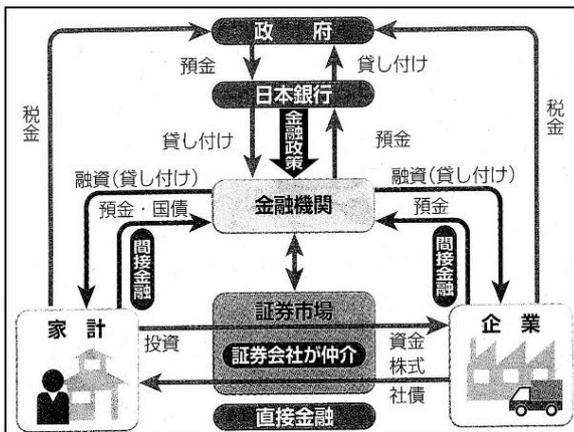
キャッシュレス化のデメリット

- ・現金しか対応していない場所で支払うことが出来ない
- ・災害時やネットワーク障害の際に使用できない
- ・パスワード盗難など、セキュリティの不安
- ・店ごとに使うサービスが異なると不便
- ・店舗にとっては支払機などの投資が必要

(ii) 金融市場と金融機関

金融 = 資金が必要な人とゆとりのある人の中で、資金を融通し合うこと

■ 金融の循環



市場の種類

- [¹³ **金融市場**]: 資金の貸し手と借り手の間で
資金を取引する市場
- [¹⁴ **証券市場**]: 株式や債券などの有価証券を取引

資金の調達方法は2種類に分けられる

- [¹⁵ **直接金融**]: 株式や社債を発行し、家計から
直接的に資金を集める方法
- [¹⁶ **間接金融**]: 銀行などの金融機関を通して
間接的に資金を集める方法

+a 銀行は金利で儲けている！

※金利とは=借手が貸し手に資金を融通してもらった時に、お返しとして払う**利子**の割合

例：金利0.01%で預金業務
金利5.0%で貸出業務



(iii) 金融機関の役割

- * 銀行の3大業務 … 預金業務 (預金の受け入れ)
… 貸出業務 (資金の貸し付け)
… 為替業務 (現金を使わない資金の移動)



* 銀行の3つの機能

- ① [17 資金仲介] 機能 (資金の余っている経済主体から資金を預かり、不足する主体へ貸し出す)
- ② [18 決済] 機能 (送金や自動支払いなどの方法で、現金を使わずに資金の決済を行う)
- ③ [19 信用創造] 機能 (預金の受け入れと貸し付けを繰り返すことで、何倍もの預金通貨を創出)

Think🗨️ もしこの世に銀行が無かったら…?

銀行とは、余裕のある人からお金を預かり(預金業務)、必要とすることへ貸し出す(貸出業務)ことで社会を豊かにする組織です。また、私たちの日々のお金のやりとりを円滑かつ確実に行う(為替業務)ことで経済活動を支えることも、銀行の大切な責務。これを「銀行の3大業務」といいます。もしも銀行がこの世になかったら…私たちの暮らしはどうなるのでしょうか。考えてみましょう。

- ・ お金を全て自分の家で管理しなければならない→盗難や紛失のリスク
- ・ カード払いなどの支払いを取り次ぐことができず、現金決済のみになってしまう
- ・ 住宅ローンや自動車ローンを組むことが出来ない
- ・ 企業が必要な資金を借入れすることが出来ず、事業が停滞する→経済の停滞
- ・ 光熱費や携帯の支払いなども引き落としで出来ず、毎回自分で支払いに行く必要がある

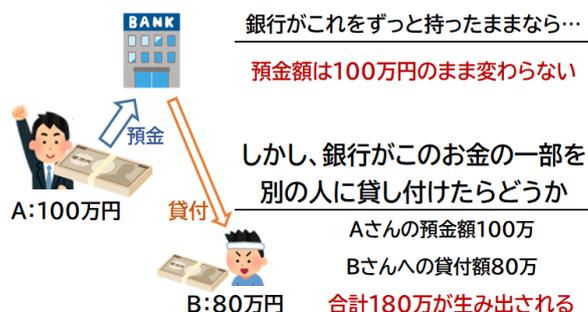
発展問題💡 信用創造とは何か

銀行は、預金を貸出にまわすことを繰り返し、最初の預金の何倍ものお金を作り出すことができる。このしくみを〔²⁰ 信用創造〕という。

金融機関は、預かったお金を他に回すことを繰り返し、元のお金よりも多くのお金を作り出す。

でもそれだとAさんのお金がなくなるんじゃないかと思うかもしれないが、お互いの信頼によって成り立つ。銀行はBさんに対して「貸した分は返ってくる」と信用。Aさんも銀行を信用しているからすぐ引き出すこともない。この信用のもとで、眠っているお金を回すことができる。

(例)Aさんが100万円を預けたとする



しかし、全て回すといざという時のお金がなくなってしまうので、銀行は預金を受け入れた時にその一部を〔²¹ 預金準備〕として日本銀行へ預けて残しておく必要がある。

